

二〇二五年春

出版目録

全一八一冊

紹介！

全国書店にて発売中
お急ぎの際は弊社まで直接ご連絡ください

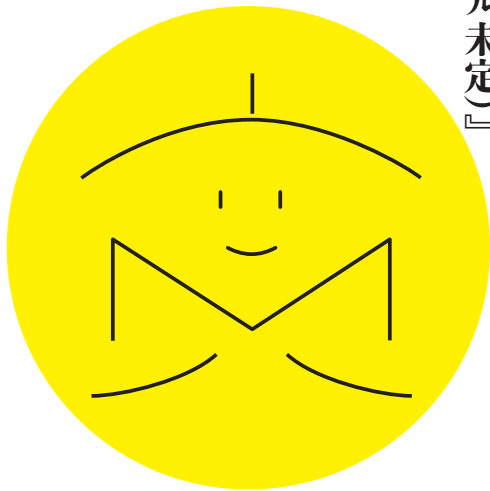
〔近日刊行書目〕

二〇二五年五～六月予定

- 小松靖彦・田中祐輔編著『翻訳新論 日中の文字とことばのへ近さと遠さを考える』
- 西田耕三『なつかしい近代文学 江戸を視野に入れて』
- 海野圭介・神作研・ジョシユア・モストウ・ミシエル・ヴィエイヤール・バロン編著『百人二首探訪』(仮)
- 佐々木孝浩『日本古典書誌学論 新訂版』
- 湯川説子『永井荷風(タイトル未定)』

<https://bungaku-report.com/>

發兌書林 ●駒込千駄木坂下町



〒113-0022
東京都文京区千駄木2-31-3
1階101
電話03-5939-9027
FAX03-5939-9094
info@bungaku-report.com

西暦二〇一八年、
平成二〇〇年以来

文学通信

新刻書目便覧

ナラティヴの被害学

阿部幸大

ISBN978-4-86766-071-3 C0098

四六判・上製・336頁

定価：本体 2,200 円（税別）

2025
刊行

立ち読みする!



なにが暴力で、なにが暴力でないのか。誰が被害者で、誰が加害者なのか。あなたはその当事者なのか、それとも部外者なのか——本書は「ナラティヴの被害学」という方法論によって、こうした暴力にまつわる諸問題に取り組む。

ある複雑な事象を、加害者たる「やつら」と被害者たる「われわれ」という二元論によって単純化するナラティヴは、暴力は「やつら」の問題なのだといわれわれに教える。そうしたナラティヴが、いかにわれわれの思考を、感情を、言動を、そして誰に同情し、誰を嫌悪するかを強力に規定しているか。ナラティヴの被害学とは、そのことをクリティカルに検討するための枠組みである。

いま、暴力を「やつら」の手から奪還し、加害性を社会全体に再配分せねばならない——まさしく暴力を回避するために。

昭和天皇裕仁「玉音放送」を皮切りに、トニ・モリスン『ピラヴド』、ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』、ハーマン・メルヴィル「バートルビー」、村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』、映画『トップガン』シリーズといった諸作品の分析をつうじて、本書『ナラティヴの被害学』は歴史理解における被害性と加害性の重層的なポリティクスを解きほぐす。

遊戯としての人文学から脱却し、人文学の存在意義をクリティカルに問う研究書の誕生。

本書は2024年に『まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書』（光文社）を上梓した筆者が、どのように論文執筆力を培ってきたのか、その成長過程を追った実践例集でもある。

各章は執筆の時系列順に並んでおり、また各章の扉には、章の概要（アブストラクト）に加えて、いつどのような経緯で執筆し、どの学術誌に投稿し、ときに落とされ、どのような改稿を経て掲載に至ったのか、さらには現時点から振り返っての容赦ない批判コメントも付した。

これは研究書であると同時に、世界で活躍する人文学徒のための教育書でもある。

【じっさいは複雑でそのように整理すべきではない事象を被害と加害の二元論によって単純化しつつ、問題を善き「われわれ」と悪しき「やつら」の対立へと還元し、暴力と加害を他者の領域に追いやる、そのようなナラティヴの諸効果を暴くために、そしていかにわれわれが意図せずそのようなナラティヴに毒されているのかを暴くために、被害学はある。[...] いま、暴力を「加害者」の手から奪還し、加害性を社会全体に再配分せねばならない——まさしく暴力を回避するために。】.....「第1章 ナラティヴの被害学」より

■各章で論じる対象・作家・作品

「玉音放送」／ノラ・オズジャ・ケラー『慰安婦』／トニ・モリスン『ピラヴド』／ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』／デブラ・

グラニク『足跡はかき消して』／ハーマン・メルヴィル「バートルビー」／『トップガン』シリーズ／村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』／ティム・オブライエン『本当の戦争の話をしよう』／ヴィエト・タン・ウェン「アメリカ人」／トマス・ピンチョン『重力の虹』

【目次】

第1章 ナラティヴの被害学

ナラティヴの被害学／加害性の再配分／本書の使いかた

第2章 トマス・ピンチョン『重力の虹』におけるエコロジカル・ナショナリズム

シュヴァルツコマンダーの人種的ナショナリズム／カウンターフォースの局所的攪乱／ピンチョンのエコロジカル・ナショナリズム／グローバル時代のラディカリズム

第3章 ノラ・オズジャ・ケラー『慰安婦』におけるコリアン・アメリカン二世の応答可能性

慰安婦問題と冷戦（以後）のアメリカ／マミーの呪い—アメリカの文化、朝鮮の歴史／コリアン・アメリカン二世の罪悪感／コリアン・アメリカン二世の応答可能性／部外者の責任／応答可能性を再構築する

第4章 トニ・モリスン『ピラヴド』におけるメランコリックな愛と醜い感情

『ピラヴド』と情動／トラウマの間世代的伝達／醜い感情／トラウマを翻訳する／結論

第5章 ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』におけるシェル・ショックとジェンダー

トラウマからシェル・ショックへ／セプティマスとシェル・ショック／クラリッサとシェル・ショック／フェミニスト・エピファニー

第6章 デブラ・グラニク『足跡はかき消して』におけるベトナム戦争と9・11以降のホームランド

間世代的トラウマとしてのベトナム／アメリカのホームランドでベトナムを再緑化する／反例外主義的光学

第7章 ハーマン・メルヴィル「バートルビー」におけるグローバル市場と受益者

グローバル市場のなかのバートルビー／「なにひとつ変えないほうが助かるのですが」／「ご自分で理由がおわかりになりませんか」

第8章 『トップガン』シリーズにおけるアメリカの軍事史と例外主義

ベトナム・シンドロームを蹴っとばす／「テロとの戦争」とノスタルジア／シリーズ化と相続

第9章 村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』におけるアジア太平洋戦争のポストメモリー

トラウマと加害国のポストメモリー／満州——被害性と加害性を超えて／日本の軍事主義と性的暴力／トルのポストメモリーとコミットメント／歴史、虚構、倫理

第10章 ティム・オブライエンとヴィエト・タン・ウェンにおけるベトナム帰還兵と癒しの旅

ティム・オブライエンと快癒する白人帰還兵／ヴィエト・タン・ウェンとアフロ・アジア／結論

Cai Guo-Qiang,

Clear Sky Black Cloud, 2006.

Explosion event realized at The Iris and B. Gerald Cantor Roof Garden, The Metropolitan Museum of Art, New York.

Photo by Teresa Christiansen, courtesy The Metropolitan Museum of Art



ナラティヴの被害学

Narrative and Victimology

阿部幸大

Kōdai Abe

われわれは暴力を「やつら」の手から奪還し、加害性を社会全体に再配分せねばならない——

「まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書」(光文社)の著者による長編の実践編、全10章。

光文社

文体史零年

文例集が映す近代文学のスタイル

国文学研究資料館編 多田蔵人編

立ち読みする!



ISBN978-4-86766-079-9 C0095

A5判・上製・440頁

定価：本体4,000円（税別）

2025
刊行

小説、日記、手紙、詩歌、演説、さらにはSNSの投稿文に至るまで、さまざまな目的で書かれた「文」には、意識的にも無意識的にも多彩な文体が選ばれ、表現されています。

けれども、使われた言葉の特徴や微妙なニュアンスは、時が経つにつれて次第に薄れ、忘れ去られることが少なくありません。本書では、それらの言葉を再び蘇らせるために、文学愛好者や言葉を学び始めた人々に向けて出版された数多くの〈文例集〉—大量に出版された語彙集や作法書、実用書、アンソロジーなどを手がかりに、文体の背後に隠れた深層に迫ります。

これまであまり注目されることのなかったこれらの資料群から、無名・有名を問わず多くの作家たちが描いた文学作品における文体の実態をとらえ、14篇の論考と100冊の書目解題を通じて、文学の実作とそれを受け取る人々の間にあった〈意味〉の輪郭を鮮やかに復元していきます。

【本書のポイント】

- 〈文例集〉を文学研究における重要な資料群として新たに提案
- 14篇の研究論文を通じて、散文や詩歌の作者たちとその読者が〈文例集〉とどのように関わりを持ったのかを解明
- 100冊の書目解題と書影を掲載したカタログ「文範百選」を収録

【……文学研究が小説や詩の言葉を「現代語訳」した意味内容だけを考察対象とするのではなく、右にみてきたような文体のトーンや混淆ぶりを含みこんだ形で捉えて分析するにはどうすれば良いか？ そうした問いに手がかりを与えてくれるのが、本書で〈文例集〉と総称する資料群です。近代には右に見てきたような文体状況と呼応するように、様々なジャンルにわたる語彙集や文例集、作法書、あるいは個人・流派ごとのアンソロジーが、実用的な言葉の初学者用入門書からかなりの文学愛好者に向けた書物にいたるまで、大量に出版されていました。書簡、日記、美文、論文、翻訳、金言・教訓、紀行文、近代詩、戯曲、音曲、漢詩、和歌・短歌、俳諧、言文一致会話、説教、朗読、演説、労働者の言葉、小説—ずいぶん読まれていたらしいにもかかわらずどの古本屋でもボロボロになって本棚の隅に置かれており、図書館でもあまり顧みられていないこれらの文例集こそ、失われつつある近代文学のニュアンスを読みとくための「類型辞書」ともいべき役割を果たしてくれる資料群なのです。】……『文体史零年』のための序—『吾輩は猫である』の文体から（多田蔵人）より

執筆者：多田蔵人／馬場美佳／倉田容子／都田康仁／杉山雄大／堀下翔／田部知季／栗原悠／合山林太郎／北川扶生子／湯本優希／高野純子／山本歩／谷川恵一

【目次】

『文体史零年』のための序—『吾輩は猫である』の文体から（多田蔵人）

第I部 散文

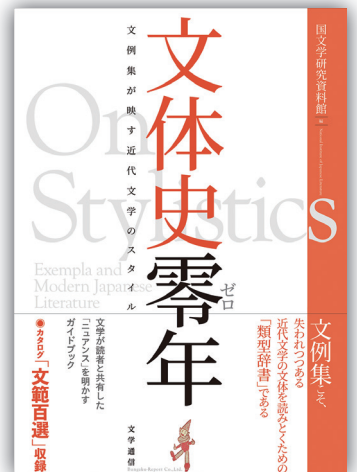
- 第1章 紅葉の文範、文範としての「二人比丘尼色懺悔」（馬場美佳）
- 第2章 「同胞姉妹に告ぐ」と『穎才新誌』——一八八〇年代前半における政治とジェンダーをめぐる表現史の水脈（倉田容子）
- 第3章 無口な英雄——矢野龍溪『経国美談』と演説の時代（多田蔵人）
- 第4章 写生文とは何か（都田康仁）
- 第5章 大西巨人『精神の氷点』のスタイル——実験小説による「時代の自己批判」（杉山雄大）
- ❖ 文範百選・巻——小説・アンソロジー・小説作法・言文一致・演説

第II部 詩歌

- 第6章 「里川」考——佐々木弘綱『詠歌自在』の歌語（堀下翔）
- 第7章 明治四十年代における連句をめぐる交流圏——俳書堂の連句関連書籍を手掛かりとして（田部知季）
- 第8章 和文と唱歌教育の交差——稲垣千穎『本朝文範』、『和文読本』と『小学唱歌集初編』の関係を中心に（栗原悠）
- 第9章 詩語・詩礎集は近代の漢詩に何をもたらしたのか——『詩語碎金』『幼学詩韻』『幼学便覧』などを例に（合山林太郎）
- ❖ 文範百選・式——写生文・叙事文・漢詩・和歌・短歌・俳句・近代詩・童謡・紀行文・日記・音曲

第III部 書く読者たち

- 第10章 日清・日露戦争期における美文・写生文と文範——異文化を描く文体（北川扶生子）
- 第11章 美辞麗句集の時代——明治期における作文書の実態（湯本優希）
- 第12章 雑誌『文章世界』と文例集の思想——「文に志す諸君」の机辺に『評釈 新古文範』を（高野純子）
- 第13章 すべてが文範になる？——日本文学学院=新潮社の戦略（山本歩）
- 第14章 青年文学者たちの環境、そして文範という営み（谷川恵一）
- ❖ 文範百選・参——手紙・女性・美文・翻訳・和文・漢文・綴方・文章論・戯曲・作法



<https://bungaku-report.com/onstylistics.html>

特設サイトで公開中!

- 座談会 「徹底討議5万字 語りつくす文体史のゆくえ」
- 国文学研究資料館「国文研文例集コレクション」(1650点) 目録 (高木元・多田蔵人旧蔵、近世末~近現代に出版された「文例」に関わる書物群)

王朝物語における居住空間

物語の登場人物と住まい

天野ひろみ

ISBN978-4-86766-075-1 C0095

A5判・上製・288頁

定価：本体4,800円（税別）

2025
刊行

立ち読みする!



王朝物語の居住空間とはどのようなものだったのか。貴族邸宅に存在する殿舎の特徴とは何なのか。

物語の舞台となっている”空間”は登場人物の呼称となったり、そこに住まう登場人物の特性がイメージ付けされたりしている。殿舎は身分・性別・立場などによって相違していたが、実態はどうだったのか。物語の貴族邸宅の全体を俯瞰しようとする書。

虚構である物語の用例のみならず、王朝期に記された古記録や歴史書に記された用例をも検討。建築史学面での平安時代の建築に関する研究も取り入れながら、王朝物語の登場人物と住まいを考える。

物語の文章からは貴族邸宅に存在する殿舎の個別の特徴をうかがうことができる。それらを説明する文章は、登場人物の性質や物語展開と密接に関わってくるものである。それは、物語作者から読者へ向けられた物語読解のためのヒントである――

第一部「女君たちの居住空間」では物語の女主人公の住まいについて考察、第二部はあまり注目されることのなかった「男君たちの居住空間」を考える。第三部「女房たちの居住空間」では、物語を陰で支える女房たちの住まいについて考え、第四部「子どもたちの居住空間」は「寝殿」とその家の子女たちとの関わりや、皇子女たちがどこで生活したかについて『源氏物語』の用例を中心に確認していく。

【平安時代の大貴族の住む邸宅は広大な敷地を持つ。物語はフィクションであるが、そこに登場する上級貴族の邸宅は、やはり実際の貴族の邸宅と同様の仕様・規模を持つものであったと思われる。しかし、そこに住まう物語のヒロインたちは自邸の広さを俯瞰したり、邸宅の隅々まで探索したりすることはできない。彼女たちの視界は狭く限定されたものだっただろう。広い邸宅に比して、ヒロインたちの行動範囲は限られている。その限られた中で女性たちは生き、その中で生活の楽しさを見出していたと思われる。そして、彼女たちの生きるその狭い空間はそのまま彼女たちの呼称となった。居住空間と呼称の深い関係に気付いてから、私は空間についてもっと深く理解したいと思うようになっていった。最初は正殿である寝殿について考察した。そして興味はその寝殿を取り巻く附属舎へと広がっていった。】……あとがきより

【目次】

凡例

序章 王朝物語の居住空間

- 一、王朝物語における貴族の邸宅の様相
二、登場人物たちの居住空間 三、本書の構成

第一部 女君たちの居住空間

第一章 『源氏物語』を中心とした王朝物語における西の空間

- はじめに 一、寝殿の西面について 二、物語の西の対
三、『源氏物語』の東の対 おわりに

第二章 王朝物語における「対」の居住者たち

- はじめに 一、妻たち 二、母代わりの女房たち
三、引き取られた娘たち
四、引き継がれた「対の御方」のイメージ おわりに

第二部 男君たちの居住空間

第一章 『源氏物語』の邸宅使用方法について―光源氏と匂宮の事例を中心に―

- はじめに 一、青年光源氏の二条院使用方法
二、大臣光源氏の場合 三、匂宮の二条院使用方法 おわりに

第二章 王朝物語における男性の住まい

- はじめに 一、男子の居所としての「曹司」
二、男子の居所としての「御方」 三、婿たちの空間
四、主人の居所としての「出居」 おわりに

第三部 女房たちの居住空間

第一章 王朝物語における渡殿の役割―恋愛発生場として―

- はじめに―「廊」と「渡殿」に関する諸説―
一、渡殿の位置 二、居住空間としての渡殿
三、恋愛空間としての渡殿 おわりに

第二章 『源氏物語』を中心とした王朝物語における北の空間

- はじめに 一、北側の空間 二、北の対の機能
三、女房たちの空間としての北の対 四、『源氏物語』の北の対
おわりに

第三章 後宮の細殿―その特質と役割をめぐって―

- はじめに―細殿とは何か― 一、後宮の細殿の特質
二、後宮の細殿の役割
三、物語における細殿女性の系譜―名をしない女性の場合―
四、密会空間としての細殿 おわりに

第四章 王朝物語における台盤所―使用者と役割について―

- はじめに 一、台盤所を使用する人々
二、台盤所の機能 三、台盤所を許された男性たち
四、男性と女房との交流空間として 五、台盤所の女房の身分
おわりに

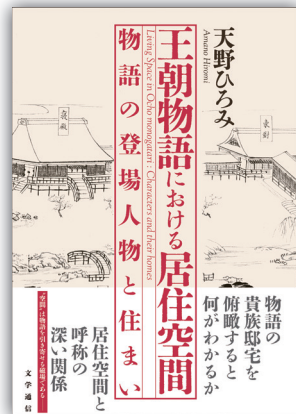
第四部 子どもたちの居住空間

第一章 王朝物語の中の寝殿―子女たちとの関わりを中心に―

- はじめに―主人と寝殿―
一、寝殿と娘との関わり①―独身の娘の場合―
二、寝殿と娘との関わり②―既婚の娘の場合―
三、寝殿と男子との関わり①―婿となった男子の場合―
四、寝殿と男子との関わり②―息子の場合―
おわりに―寝殿が担った役割―

第二章 王朝物語における皇子女たちの居住空間

- はじめに
一、史上の皇子女の居住空間
二、物語の皇子女の居住空間①―『うつほ物語』の場合―
三、物語の皇子女の居住空間②―『源氏物語』桐壺帝の皇子女たちの場合―
四、物語の皇子女の居住空間③―『源氏物語』今上帝の皇子女たちの場合―
おわりに



中世神仏の文芸と儀礼

有賀夏紀

ISBN978-4-86766-078-2 C0095

A5判・上製・240頁

定価：本体6,000円（税別）

2025
刊行

立ち読みする!



宗教言説と文芸との交渉のありさま、そしてその土壌となった儀礼空間をどう読み解くか。

仏教儀礼の場で生成されるテキスト類の特質と、その思想的・文化的背景を明らかにする。

本書は『神道集』および『辰菩薩口伝』『龍王講式』等の儀礼関連資料を中心に、中世宗教文芸の諸相と、その思想的基盤となる信仰や学問体系、成立環境について考える。

儀礼の言説から生じた文芸と、それを論理的に支えた思想との相関性を探るべく、第Ⅰ部『神道集』の言説と思想』では、法会の言説に連なる『神道集』の本文表現を確認しながら、『神道集』を構築する知識の基層を分析。これによって『神道集』の根底に広がる教理・教説や神祇信仰、また注釈世界の様相を詳らかにし、『神道集』が重層的な営みの上に成り立つことを示す。

つづいて第Ⅱ部「真言宗寺院の儀礼と文芸」では、真言宗寺院に所蔵される儀礼関連の文献資料を検討する。とくに称名寺聖教の吒枳尼天関連資料や、天野山金剛寺蔵の『龍王講式』の分析を通して、儀礼関連資料の背景となる教説や学問活動の様態を探る。

【目次】

序章

- 一 本研究の方法
- 二 各章の梗概

第Ⅰ部 『神道集』の言説と思想

第一章 『神道集』研究史

- 一 本地垂迹説と『神道集』
- 二 『神道集』の成立と諸本
- 三 『神道集』研究の展開

第二章 『神道集』の本文表現と仏教儀礼

はじめに

- 一 本地説の形式と修辞
- 二 本地説の文言と法会資料
- 三 『神道集』の文章形成

おわりに

第三章 『神道集』の神祇観と実者

はじめに

- 一 神の分類「権者」と「実者」
- 二 実者神と「実業」
- 三 「権化実類」をめぐる中世の言説
- 四 『神道集』の三分類

おわりに

第四章 『神道集』「諏方縁起」の女神と禁忌

はじめに

- 一 南北朝期の「家」の問題
- 二 『神道集』の夫婦
- 三 「諏方縁起」の主眼

四 春日姫と荒唐 / おわりに

第五章 『神道集』「白山権現事」の王子たち

はじめに

- 一 「五人王子」の本地説
- 二 白山信仰と禅定道
- 三 白山と五台山

おわりに

第六章 『神道集』の「鹿嶋縁起」と注釈

はじめに

- 一 『神道集』の「鹿嶋縁起」
- 二 鹿嶋神と天津児屋根
- 三 神宮寺と十一面観音
- 四 金鷲・銀鷲と日本紀注
- 五 『神道集』と東国の諸注釈

おわりに

第Ⅱ部 真言宗寺院の文芸と儀礼

第一章 『神道集』の辰狐王菩薩曼荼羅

はじめに

- 一 稻荷神の本地説
- 二 辰狐王と文殊菩薩（一）外用の徳
- 三 辰狐王と文殊菩薩（二）内証の功
- 四 対句表現と儀礼テキスト
- 五 眷属たちと本尊図像
- 六 『神道集』の現世と後生

おわりに

第二章 『辰菩薩口伝』と中世仮託文献

はじめに

- 一 「安然口決」と円密一致の曼荼羅
- 二 『法華経』と密教
- 三 「智証大師口決」と八分肉団
- 四 「真言法華の肝心」としての吒枳尼天
- 五 吒枳尼天をめぐる天台系所説

おわりに

第三章 『辰菩薩口伝上口決』と法華曼荼羅

はじめに

- 一 吒枳尼天の口決と円密の一致
- 二 並座する二仏と五大法性の宝塔
- 三 毘沙門天の宝塔と身心
- 四 吒枳尼天と即位灌頂

おわりに

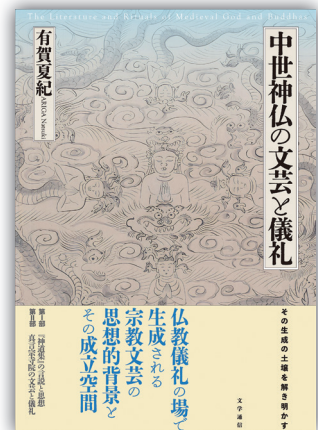
第四章 『龍王講式』の式文世界

はじめに

- 一 天野山金剛寺蔵『龍王講式』における典籍利用
- 二 『釈摩訶衍論』の龍と宝珠
- 三 請雨経法と龍宮世界
- 四 神泉苑の石座と「最極秘事」

おわりに

結語 索引（Ⅰ書名・Ⅱ人名・Ⅲ神仏名・Ⅳ事項・地名）



文学通信

第1巻
くらし



第2巻
たべもの



第3巻
どうぶつ



第4巻
ことば



第5巻
もののけ



「編著」根来麻子 甲南女子大学文学部准教授

こてん 古典 みゆーじあむ

シリーズ全5冊一挙刊行!

1話2分で朝読にぴったり!
小学校高学年〜大人まで

読んで、感じて!

古典の面白いエピソードを
やさしく、わかりやすく
紹介するよ!
過去にタイムスリップして
昔の世界を楽しもう!
読んで、感じて!

推薦



渡部泰明
国文学研究資料館館長

探してごらん。
古典は、いつも、
君のそばにあるよ。



◎各巻、1,650円(税込) 四六判・並製・カバー装・136頁

●販売価格

【分売可】

第1巻 くらし

ISBN978-4-86766-061-4 C0095
四六判・並製・136頁
定価：本体1,500円(税別)

第2巻 たべもの

ISBN978-4-86766-062-1 C0095
四六判・並製・136頁
定価：本体1,500円(税別)

第3巻 どうぶつ

ISBN978-4-86766-063-8 C0095
四六判・並製・136頁
定価：本体1,500円(税別)

第4巻 ことば

ISBN978-4-86766-064-5 C0095
四六判・並製・136頁
定価：本体1,500円(税別)

第5巻 もののけ

ISBN978-4-86766-065-2 C0095
四六判・並製・136頁
定価：本体1,500円(税別)

【全5巻・セット価格】

ISBN978-4-86766-080-5
定価：本体7,500円(税別)

特設サイト



【シリーズ特色】

古典の面白いエピソードをやさしく、わかりやすく紹介します。「くらし編」「たべもの編」「どうぶつ編」「ことば編」「もののけ編」という全5冊シリーズ! 全240話!

- ①古典のエピソードを全12章(各4話)で紹介。どこから読んでもOK!
- ②学校で習う作品から、少しマイナーな作品まで、幅広い古典作品を収録!
- ③各エピソードにある「声に出して読んでみよう」で原文の音読に挑戦!
- ④収録作品の読書案内&年表つき!

古典文学を、もっと身近に、もっと気軽に楽しんでほしい—

●根来麻子 [甲南女子大学文学部准教授]

「古典文学を、もっと身近に、もっと気軽に楽しんでほしい」。そんな想いから、本シリーズは生まれました。「くらし編」「たべもの編」「どうぶつ編」「ことば編」「もののけ編」という五冊シリーズです。それぞれのテーマにそったエピソードを集めていますので、どこから読んでもOKです。もくじを見て、気になるタイトルのページを、まずは開いてみてください。もちろん、前から順番に読み進めても楽しめます。

本シリーズでは、学校で習う有名な作品だけでなく、ちょっとマイナーだけれど、面白いエピソードがたくさん収録されている作品も取り上げました。また、狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎・落語など、伝統芸能の演目として有名な作品も取り上げています。ひとくちに「古典」といっても、作られた時代やジャンルは、本当にさまざまです。みやびやかな物語もあれば、いさましい戦いのエピソードもあり、笑い話やこわい話もあります。本シリーズを読んで、ぜひ、自分の好きな作品を見つけてください。

エピソードの最後には、「声に出して読んでみよう」として、古典の原文を載せています。古典の文章は、目で読むだけでなく、実際に声に出して読んでみることで、独特のリズムやことばの雰囲気を感じることができるといえますので、ぜひ、チャレンジしてみてくださいね。

各編の章末には、「読書案内」として、主に原文・現代語訳・注釈が載っている書籍を載せました。各章で紹介したエピソードをもっとじっくり読みたいという方は、こちらを参照してください。また、巻末には「年表」を付け、本シリーズで取り上げた全作品が、それぞれの時代のものなのか、時系列で分かるようにしました。「読書案内」と「年表」は、学校の授業などにもお役立ていただけたらと思います。

本文の小学校高学年以上で習う漢字には、ふりがなを付けています。小・中学生から、古典が好きな高校生・大学生、また、「もう一度、古典を読みたい」という社会人の皆さんまで、幅広く多くの方に手に取っていただけることを願っています。

研究室で
初學者の
学生に!

小城鍋島文庫の古典籍たち

書物は語る

中尾友香梨・白石良夫・二宮愛理編

ISBN978-4-86766-085-0 C0095

A5判・並製・376頁・口絵カラー

定価：本体4,500円（税別）

2025
刊行

立ち読みする!



どう昔の書物と向き合うのか。その実践と方法をあますところなく伝える。小城鍋島文庫（おぎなべしまぶんこ）研究会が結成され十二年。文庫の悉皆調査を行ってきたメンバーたちは、どのように蔵書を見てきたのか。メンバーが文庫調査で出会った書物と向き合って、書物の語る声に耳を傾け、文庫の本をかたる書。

第I部には、小城鍋島文庫の基礎を築いた二代藩主直能に関する文章を収録。第II部は、文庫を形作った直嵩・直愈兄弟が催した藩主家の文芸サロンとその周辺のことに関する文章を収録。小城歌壇または小城文壇と称すべきものがこの時期に形成されていたことが窺えるものだ。第III部は、文庫の蔵書のひとつである『和学知辺草』に関する文章を。第IV部には、文庫を構成するユニークな面々にスポットライトをあてる。文庫の蔵書の「モノ」としての側面に重きを置き、その個性をクローズアップさせている。第V部は逆に、和漢・雅俗の多彩な蔵書の「作品」としての側面と「享受」に重きを置き、文学史のなかで読み解いてある。

蔵書印をカラーで掲載するほか、重要情報満載。

【構成】口絵（小城鍋島文庫の逸品・小城鍋島文庫の蔵書印）、小城鍋島家略系図 まえがき—書物は多くを語ってくれる（中尾友香梨）／I 直能、小城的文雅を創る／1 桜岡三部作（一）—『八重一重』（中尾友香梨）／2 桜岡三部作（二）—『八重一重』（中尾友香梨）／3 桜岡三部作（三）—『八重一重』（中尾友香梨）

／4 鍋島直能と堂上歌壇—『新拾葉集』（日高愛子）／5 支藩の藩主、本藩の世子—『不忘集』（中尾健一郎）／II 藩主家の文芸サロンと小城文壇／6 薄幸の若様を守り立てて—鍋島直嵩覚書（白石良夫）／7 鍋島直嵩の和歌習練—『為範卿御筆歌書』（日高愛子）／8 静明院の和歌とその周辺—『松の志都久』（日高愛子）／9 俗書と小城藩の知識人たち—『近代公実叢秘録』（中尾健一郎）／III 『和学知辺草』を深掘りする／10 埋もれていた和学入門書—『和学知辺草』（中尾友香梨）／11 自己主張する後光明天皇—『和学知辺草』補注一（白石良夫）／12 『先代旧事本紀大成経』偽作者異聞—『和学知辺草』補注二（中尾健一郎）／13 徂徠学評判記—『和学知辺草』抜書（白石良夫）／IV 当文庫のユニークな面々／14 一枚の付箋の行方—『三翁和歌永言集』（進藤康子）／15 古典文庫解説見聞—『十帖源氏』の刊・印・修（白石良夫）／16 中林梧竹と山内香雪—古活字版識語と『名家手簡』（白石良夫）／17 箏曲本のベストセラー—『撫箏雅譜集』（村上義明）／18 將軍家の個人情報—一枚刷『宗廟法諱略』（白石良夫）／19 松岡玄達と晩年の弟子（一）—『中臣祓風水草』（中尾友香梨）／20 松岡玄達と晩年の弟子（二）—『中臣祓風水草』（中尾友香梨）／V くさぐさの作品は語る／21 中院通茂とのカップリング歌集—『日野大納言弘資集』（進藤康子）／22 女訓物の典型、その蒐集の意味—『本朝女鑑』（大久保順子）／23 「笛を吹く業平」伝説の享受—『青葉のふえの物がたり』（大久保順子）／24 寛永寺の文芸サロンと菊地五山—『和歌題絶句』（中尾健一郎）／25 孔子さまの物語—『聖蹟図説諺解』（土屋育子）／26 楊貴妃物語の翻案と艶笑小説—『通俗明皇後宮伝』（土屋育子）／付録／



怪異から妖怪へ

東アジア怪異学会編

2024
刊行

ISBN978-4-86766-072-0 C0021

B6判・並製・240頁

定価：本体1,700円（税別）

人は何かに出会ったとき、それを「怪異」と認識し記録に残す。そういった記録されたことばを分析することを重視してきたのが怪異学であり、本書の編者、東アジア怪異学会（ひがしあじあかいがっかい）である。

動物の異常行動や異常気象など、もとは現象だった「怪異」を起こしていた存在は、時の経過とともに姿形などの輪郭を得て、すこしずつ私たちが知る「妖怪」に変容してきた。

本書はそんな「妖怪」の来歴を丁寧に読み解くことで、より探究心を得、新たな専門知を学ぶことができる入門書であり、近年になり語られるようになった新しい存在、むかしは起きなかった異常な現象についても、怪異学の技法でどう論じていけばいいか、ヒントも得られる実践の書でもある。

第1部「怪異学総説」では、「怪異」と「神」、「妖怪」の基礎とその関係を論じ、第2部「妖怪列伝」では、独立したキャラクター「妖怪」の成り立ちを、鬼、白沢、天狗、鳴釜、河童、一目連、九尾狐、オサカベ、件、水子霊から見ていく。[特別寄稿] チョコレートを食べること（京極夏彦）収録！

執筆は、大江 篤、久禮旦雄、化野 燐、榎村寛之、佐々木聡、

久留島元、木場貴俊、村上紀夫、佐野誠子、南郷晃子、笹方政紀、陳 宣聿、京極夏彦。

【目次】

はじめに一神と怪（大江 篤）

第1部 怪異学総説

- 1 「怪異」と怪異学（大江 篤）
- 2 神—その形成と展開（久禮旦雄）
- 3 妖怪（化野 燐）

第2部 妖怪列伝—どのように成立したか

- 1 鬼—『出雲国風土記』と日本古代の「鬼」（榎村寛之）
- 2 白沢—俗化する神獣とその知識（佐々木聡）
- 3 天狗—天変から信仰へ（久留島元）
- 4 鳴釜—俗信から科学、そして諧謔へ（佐々木聡）
- 5 河童（木場貴俊）
- 6 一目連—情報の連鎖と変容（村上紀夫）
- 7 九尾狐（佐野誠子）
- 8 オサカベ（南郷晃子）
- 9 件（笹方政紀）
- 10 水子霊—天逝した胎児の霊はどこに現れ、誰に祟るか？（陳 宣聿）

【特別寄稿】 チョコレートを食べること（京極夏彦） 参考・引用資料

立ち読みする!



古典を学んでよかった！と思える探究型授業のつくりかた

「文学」「国語」のためのアクティブラーニング

日本文学アクティブラーニング研究会編

ISBN978-4-86766-083-6 C0095
A5判・並製・296頁（2色カラー）
定価：本体2,400円（税別）

2025
刊行



体も使うが頭も使う！「文学」「国語」に特化したアクティブラーニングの方法を伝える書。本書は、単に体や手を動かして表面的に何か活動をするというものではなく、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析・考察、④口頭発表・文章化という、研究するときにおこなう基本的なプロセスを取り入れ、各授業のテーマに関連する最新の研究状況も反映させ創り上げた教材を用いて活動する、探究型の授業を紹介しします。

授業に参加した一人ひとりが対象にしっかり向き合い、考察の方法を学び、深く読む楽しさを味わうことをめざす授業です。

本書には8つの「授業」を収録。ワークシートもあり、すぐに探究型授業ができるよう作りしました。高等学校の「探究型学習」でイメージされている過程をも取り込んでいます。本書からは、有用性がないとも言われる文学、ことに常に必要性を問われている古典の学びが、現代の創造的活動にもつながり、諸問題考察の糸口にもなることが実感できると思います。大学、高校の授業にぜひお使いください。

執筆は、吉野朋美（中央大学）・兼岡理恵（千葉大学）・小林ふみ子（法政大学）・佐藤至子（東京大学）・中嶋真也（学習院大学）

中野貴文（学習院大学）・平野多恵（成蹊大学）。

特設サイト



【目次】

はじめに「文学」「国語」のためのアクティブラーニング（吉野朋美）
／第1章 歌物語を作って即興演劇で発表してみよう！—『伊勢物語』の成り立ちを追体験する（中野貴文）／第2章 百人一首でディベート&和歌占いをしてみよう！—正解は一つじゃない（平野多恵）
／第3章 『徒然草』のパロディを作ってみよう！—古典の論理で現代を捉え直す（佐藤至子）／第4章 古くからある発想法（見立て）で創作してみよう！—江戸時代の「見立絵本」の可能性（小林ふみ子）
／第5章 枕詞を作ってみよう！—万葉歌人の発想を追体験する（中嶋真也）
／第6章 歴史の空白を埋める物語を創作してみよう！—歴史はどう創られる？ 草薙の剣をめぐる言説から探る（兼岡理恵）
／第7章 すれ違いの寸劇を創作してみよう！—ディスコミュニケーションと文学の歴史（中嶋真也・佐藤至子・平野多恵）
／第8章 「押し」妖怪のポスターを作ってみよう！—オンラインデータベースの活用と情報の見極め方（吉野朋美）
／[COLUMN]「ちはやぶる」の二次創作—和歌から落語へ（平野多恵）
／[COLUMN]文学の力（中野貴文）
／[COLUMN]古典文学の普及—出版の力（小林ふみ子）
／[COLUMN]どれが「本物の？」ヤマトタケル？（兼岡理恵）
／[COLUMN]学生をグループに分けるには（小林ふみ子）
／[COLUMN]万葉仮名（中嶋真也）
／参加者の緊張をほぐすには—アイスブレイク集（中野貴文）
／アクティブラーニングのためのQ&A（平野多恵）

『源氏物語』全巻をポーランド語に訳す

イヴォナ・コルディンスカ＝ナヴロツカ著

青山学院大学文学部日本文学科編

ISBN978-4-86766-081-2 C0095
B6判・並製・76頁
定価：本体800円（税別）

2025
刊行



『源氏物語』が世界文学史上傑出した作品だといえる理由とは。

ポーランドの国家プロジェクトとして五ヵ年計画で進められている『源氏物語』全巻の翻訳から何がわかってきているのか。その全貌とその翻訳手法・論点を明らかにする。

ポーランドの哲学者ローマン・インガルデンの理論により『源氏物語』がなぜ傑作かを明らかにするほか、人物の呼称などの『源氏物語』の翻訳の難所を示した刺激的な論を展開する。

2024年7月に開催された青山学院大学文学部日本文学科主催講演会「ポーランド語による初の『源氏物語』全巻訳について」の講演を、当日の活発な議論もそのままに収録。

【目次】

はしがき—企画の趣旨と経緯（小松靖彦）
講師紹介（大江元貴）

『源氏物語』全巻をポーランド語に訳す（イヴォナ・コルディンスカ＝ナヴロツカ）

- I はじめに
- II 『源氏物語』が世界文学史上傑出した作品だといえる理由「傑作」の「内容」と「形式」／その国の文化全般への影響
- III インガルデンの「擬似判断説」の理論
文学的真理／「形而上学的な品質」の具体化／異文化間コミュニケーションの仲介者としての翻訳者
- IV ポーランドにおける『源氏物語』
『源氏物語』に関するさまざまなイベント
- V 『源氏物語』全篇初のポーランド語訳のプロジェクトについて
- VI 『源氏物語』のポーランド語訳の「方略と方法論」
翻訳方略／「翻訳」と「解釈」
- VII 『源氏物語』の翻訳における基本的な問題点
1. 人物の呼称／2. 表現と語りの曖昧さと多義性／3. 和歌／4. 文化の違いカルチャーレム Kulturom
- VIII むすびに

参考文献

コメント・質疑応答編

立ち読みする!



青山学院大学文学部日本文学科主催講演会「ポーランド語による初の『源氏物語』全巻訳について」を拝聴して（山本啓介）

太平洋を越える〈新しい女〉

田村俊子とジェンダー・人種・階級

立ち読みする!



呉佩珍

ISBN978-4-86766-073-7 C0095

A5判・並製・296頁

定価：本体 3,500 円（税別）



無国籍、無国籍的な田村俊子の思想遍歴をたどる。なぜ晩年の俊子は、中国の女性問題に尽力することになったのか？

日本から北米へ、そして最終的に中国にわたった田村俊子の作品とその思想を、時系列に沿って分析し、そのなかに見えた田村俊子の「ジェンダー」「人種」「階級」言説の形成の軌跡を解明する。

俊子が取り組んだ〈ジェンダー〉問題は、当時、女性たちの社会進出とどのような関係にあったのか。作家・田村俊子は、なぜ日本を離れ、カナダのバンクーバーに赴いたのか。そして、一八年間の北米滞在を終え、日本に帰国した俊子は、なぜ、また日本を離れて中国に発ったのか。俊子は、海外でどのように活動し、どのような成果を達成したのであるか。

第1部「ドメスティック・イデオロギーへの挑戦―田村俊子にみるジェンダー諸問題」、第2部「カナダのバンクーバーにおける思想の変遷―日系社会を描く作品群をめぐって」、第3部「インターナショナル・フェミニストの連携―上海時代の佐藤（田村）俊子と中国女性問題」と、全体を3部に分け追求していく。

【田村俊子は、日本から北米、そして中国へと移動し、それぞれの土地にさまざまな足跡を残した。このような俊子の半生を一言でいうなら、「コスモポリタン」田村（佐藤）俊子となろう。彼女はいかなる道程を辿って、ここに至ったのであろうか。】……「序章」より

【目次】

序章／Ⅰ ドメスティック・イデオロギーへの挑戦―田村俊子にみるジェンダーの諸問題／第1章 女学生世界＝ノ・マンズ・ランド―田村俊子の『あきらめ』について／第2章 一九一〇年代の日本における「女性同性愛」言説―「青鞥」同人を中心に／第3章 ドメスティック・イデオロギーからの脱出願望―田村俊子の〈書く女〉と〈演じる女〉について／Ⅱ カナダのバンクーバーにおける思想の変遷―日系社会を描く作品群をめぐって／第4章 〈渡米熱〉〈墮落女学生〉と〈写婚妻〉―一九一〇年代後半の〈渡米熱〉と『大陸日報』にみる〈写婚妻〉像／第5章 ナショナル・アイデンティティとジェンダーの揺らぎ―佐藤俊子の日系二世を描く小説群にみる二重差別構造／第6章 佐藤俊子の人種問題への認識と社会主義的立場―「小さき歩み」三部作を軸として／Ⅲ インターナショナル・フェミニストの連携―上海時代の佐藤（田村）俊子と中国女性問題／第7章 上海時代（一九四二―四五）佐藤（田村）俊子と中国女性作家・関露―中国語女性雑誌『女聲』をめぐって／第8章 日本占領下の上海における女性問題の変容―プロパガンダ誌の女性文学と『女聲』の読者欄をめぐって／結章

見立てと女語りの日本近代文学

斎藤緑雨と太宰治を読む

立ち読みする!



齋藤樹里

ISBN978-4-86766-077-5 C0095

A5判・上製・336頁

定価：本体 3,800 円（税別）



日本の近代文学テキストを「芝居」と「女性」という2つのキーワードを中心に据えて論じる。

主として斎藤緑雨と太宰治という二人の近代文学者に焦点を当て、同時代の言説や同時代の社会文化状況、当時既に成立していた文学や芝居のような先行テキストを足掛かりに、小説テキストの分析を行う。

1つ目のキーワードは「芝居」。その大衆性ゆえに、題材として、引用として、描写の一部として、近代文学のなかで重要な役割を占め続けた。その知識を研究の俎上に載せることで、テキストを今一度読み替える。特に「見立て」という「芝居」的な観点から近代文学を捉えると何がわかるのか？「芝居」と〈近代批評〉を接続する。

2つ目のキーワードは「女性」である。太宰治の「女語り」、いわゆる〈女性独白体〉における「女性」とは何かを考える。性別を二分することの必然性が突き崩されているいま、近代文学のテキストはどう読んでいくとよいのか。

第一章「近代とは何か―明治二十年代と「芝居」―」、第二章「太宰治の「女語り」①―構築される「女性」―」、第三章「太宰治の「女語り」②―「芝居」の中の「女性」―」、

語り」②―「芝居」の中の「女性」―及び附章「コリア語からの視点―翻訳と物語―」の合計14節より成る本書は、解釈を何よりも重視し、物語と向き合った、日本近代文学「芝居」「女性」論である。

【目次】

序章 近代文学の「芝居」と「女性」―「見立て」と「女語り」の観点から―／第一章 近代とは何か―明治二十年代と「芝居」―／第一節 斎藤緑雨「かくれんぼ」論―「芝居」という装置―／第二節 斎藤緑雨「油地獄」論―「女殺」を欠く〈地獄〉―／第三節 斎藤緑雨「門三味線」論―常磐津の物語―／第四節 坪内逍遙「梓神子」論―近代への接続―／第二章 太宰治の「女語り」①―構築される「女性」―／第一節 太宰治「燈籠」論―〈記録〉される言葉と〈記憶〉による語り―／第二節 太宰治「きりぎりす」論―〈剝奪〉の先の希求―／第三節 太宰治「千代女」論―「わからない」少女―／第四節 太宰治「皮膚と心」論―「女」化する「私」―／第五節 太宰治「待つ」論―待つてゐる「私」の〈姿勢〉―／第六節 太宰治「響応夫人」論―「響応夫人」になる「私」―／第三章 太宰治の「女語り」②―「芝居」の中の「女性」―／第一節 太宰治「おさん」論―小春の欠如と見立てられた「おさん」―／第二節 太宰治「ヴィヨンの妻」論―『仮名手本忠臣蔵』への接近と離脱―／附章 コリア語からの視点―翻訳と物語―／第一節 翻訳の〈境界〉―森敦「天上の眺め」と「天上에서」―／第二節 李良枝「由熙」論―「우리」(われわれ)という「우리」(cage)―／終章 「芝居」と「女性」、その接点について―「見立て」られる「女語り」―

人文学を社会に開くには。

パブリックヒューマニティーズから考え・行動する

立ち読みする!



菊池信彦編

ISBN978-4-86766-086-7 C0000

A5判・並製・304頁

定価：本体3,000円（税別）

2025
刊行



人文学をどのように社会に開いていくべきか。本書は、このシンプルであり、難しい問いから出発します。その手がかりとなるのが、「パブリックヒューマニティーズ」（公共人文学）です。これは、人文学の研究成果を研究者のコミュニティ内だけでなく、広く社会に向けて発信し、市民と対話を重ねながら人文学の研究活動を実践的に展開する領域です。人文学の研究者が社会との関係をどのように築き、どのように人々と協力し、人文知をどのように伝えるのか、そして研究活動をどのように続けていくのか。本書は、読者がその問いに向き合い、実践できるための一冊です。

【目次】

第1部 パブリックヒューマニティーズ／公共人文学の現在地／

01 パブリックフォークロアを支える理念—協働、共有されたオーソリティ、対話主義— [菅豊] / 02 パブリック（ス）とパブリックヒストリー [岡本充弘] / 03 パブリックアーケオロジーと考古学の公共性 [松田陽] / 04 公共人類学と協働の民族誌 [関谷雄一] / 05 デジタルパブリックヒューマニティーズの実践とその課題 [菊池信彦] / 06 ディスカッション / **第2部 現在地を多様な立場から考える** / 07 公共社会学の挑戦—よりよい共同性を求めて— [盛山和夫] / 08 公共日本語教育学の理論と実践 [川上郁雄]

／09 パブリックヒストリーにかかる議論 [トマ・コヴァン（徳原拓哉訳）] / **第3部 人文学を社会で実践する** / 10 「人文知コミュニケーション」を考える—研究機関発信にみるパブリックヒューマニティーズ— [光平有希] / 11 Philosophy for everyone の理念とその実践 [山野弘樹] / 12 石棒クラブによるコミュニケーションの実践 [石棒クラブ（三好清超、上原惇、小林遼香）] / 13 漫画を通じた歴史実践 [佐藤二葉] / 14 神話継承・受容の研究動向から感じること [庄子大亮] / 15 研究成果をもっとウィキペディアに！—学会、図書館、博物館との連携— [北村紗衣] / 16 東日本大震災を起点とした博物館活動と社会实践 [内山大介] / 17 COVID-19に関する博物館展示を通じた人文学の発信 [五月女賢司] / 18 山村で自宅を図書館として開くということ—人文系私設図書館ルチャ・リプロの実践から— [青木真兵] / 19 シチズンサイエンスとアジャイルソフトウェア開発—「みんなで翻刻」の取り組みを通じて— [橋本雄太] / 20 VRとメタバースを人文学教育に活用する—その方法と課題— [矢野浩二郎] / 21 ゲームを通じて歴史学者の思考を体験する [池尻良平] / 22 街歩きを通じた人文学の発信—「まいまい京都」での実践を通じて— [福島幸宏] / 23 文化人類学の「応用」としての起業と実践 [大川内直子] / 24 AMANEの取り組み—人文系学術専門人材が活躍できる社会の実現を目指して— [堀井洋] / 25 歴史的な奥行きを考えるおもしろさ—過去と現在との対話としての記念碑遠足のスズメ— [柳原伸洋] / 26 歴史フェス、はじめました—歴史を楽しみたいすべての人へ— [歴史フェス実行委員会（大谷哲、河西秀哉、菊池信彦、福島幸宏、藤野裕子、堀井美里）]

REKIHAKU 特集・3Dからみえる研究

国立歴史民俗博物館・
上野祥史・松田睦彦編

ISBN978-4-86766-074-4 C0021

A5判・並製・112頁・フルカラー

定価：本体1,091円（税別）

発行 国立歴史民俗博物館
発売・編集協力 文学通信

2025
刊行



国立歴史民俗博物館発！ 歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』！いまという時代を生きるのに必要な、最先端でももしろい歴史と文化に関する研究の成果をわかりやすく伝えます。特集は「3Dからみえる研究」。

情報を記録するメディアは、写真から映像へ、そして映像から3Dデータへと変化してきた。リアリティの高い3Dデータは、われわれの身近なところにひろがっている。体感性の高い仮想現実を提供する3Dデータは、確実にわれわれの感覚や認識を変えている。その新しいデータは、どう研究に反映されてゆくのだろうか。3D計測と手実測は二者択一なのか。X線CTの効用はなにか。大量の3Dデータの先になにが見通せるのか。3Dデータは遺跡と人のかかわりを変えるのか。3D仮想空間を用いた研究はどう進んでいるのか。これからの博物館にとっての3Dデータとは、等々。三次元情報の原点としても模型の存在までを視野に入れ考える。

資金と時間に応じて広く深くなり、研究が主か、3Dが主かわからなくなってしまったほど深化してきた3D。その研究を「なぜ」に注目して、今後を展望する。特集は、中村耕作、上野祥史、中

尾 央、菊地大樹、金田明大、末森 薫、鹿納晴尚、吉井秀夫が執筆。特集以外の記事も、好評連載・鷹取ゆう「ようこそ！ サクラ歴史民俗博物館」、石出奈々子のれきはく！探検ほか、盛りだくさんで歴史と文化への好奇心をひらいていきます。歴史や文化に興味のある人はもちろん、そうではなかった人にもささる本。それが『REKIHAKU』です。年3回刊行！

【特集目次】

【3D計測と手実測は二者択一なのか】

縄文土器の3Dデータ研究実践（中村耕作）

【X線CTの効用はなにか】

X線CTと三次元情報（上野祥史）

【大量の3Dデータの先になにが見通せるのか】

大規模三次元データの共有と解析（中尾 央）

【骨と三次元、意外に思える相性の良さ】

動物考古学の中の三次元世界（菊地大樹）

【3Dデータは遺跡と人のかかわりを変えるのか】

遺跡を三次元で記録する（金田明大）

【進む3D仮想空間を用いた壁画研究】

3Dモデルを応用した古代壁画の研究（末森 薫）

【これからの博物館】

被災文化財等の3Dデジタルアーカイブと博物館での3Dデータの活用（鹿納晴尚）

【三次元情報の原点】

三次元記録としての模型—京都大学所蔵例を中心に—（吉井秀夫）

だから地方史研究はやめられない

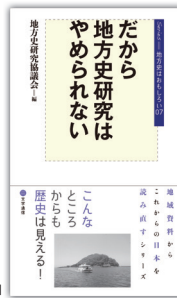
三野行徳、西向宏介、小幡尚の20名。



地方史研究協議会編

地方史はおもしろい 07
ISBN978-4-86766-082-9 C0221
新書判・並製・272頁
定価：本体1,650円（税別）

2025
刊行



現代社会のその先を作るために。日本の歩みを、記憶として、地域から残し伝え考えるための本。

第1部は「もう一つの世界から歴史を見る」では、視点や視線をかえることによって、新たな歴史の世界が立ち上がるさまを見つめ、第2部は「こんなところからも歴史が見えるぞ！」では史料はもちろん、金石文・史跡・伝承など、さまざまな地域資料に注目しながら歴史を読み解きます。第3部では「いったい何者だったのか!？」と題し、多角的な視点で人物にアプローチ。第4部「それでもしたたかに生きていく」は、巨大な力に屈することなく、時にはそれを利用して生き抜いた人々の物語を明らかにしていきます。第5部の「かくして信仰はひろがった」は、信仰や祭りについて。第6部「これからのアーカイブズの話しよう」は、地域資料を保存することの意義と実践を述べていきます。

地方から歴史を考えることに重きをおいた全20編。ぜひお楽しみください。

執筆は、山内譲、小林准士、松本洋幸、厚地淳司、栗原健一、若山浩章、兼平賢治、渡邊浩貴、桐生海正、高木謙一、佐藤貴浩、三浦忠司、宮坂新、長谷川幸一、平井義人、山下真理子、須永敬、

【目次】第1部 もう一つの世界から歴史を見る／1 海の領主忽那氏の海城警固（山内 譲）／2 竹からみた江戸時代（小林准士）／3 太平洋戦争下の箱根・熱海ツアー（松本洋幸）／第2部 こんなところからも歴史が見えるぞ！／4 沼津市霊山寺の梵鐘銘文を読む（厚地淳司）／5 慶長三年の常総国境争いをめぐる鉄火塚と鉄火棒—伝説と史実の狭間—（栗原健一）／6 「島原の乱」関係史料との出会い（若山浩章）／7 石碑と石材から地域の歴史を読み解く—岩手県内の近世石碑と墓石から—（兼平賢治）／第3部 いったい何者だったのか!？／8 道観長者とは何者か—東大寺のお水取りと伊賀—ノ井松明講の伝説—（渡邊浩貴）／9 墓石・系図・新出資料から読み解く漆仲間（桐生海正）／10 牧士とは何者か（高木謙一）／第4部 それでもしたたかに生きていく／11 伊達政宗を翻弄した大内定綱（佐藤貴浩）／12 庄屋「御用日記」から見た八戸藩の百姓一揆（三浦忠司）／13 地域をつなぐ商人の活動—館山町の他国出身商人—（宮坂 新）／第5部 かくして信仰は広がった／14 知られざる道元頂相—板行された頂相をめぐって—（長谷川幸一）／15 ザビエル来豊の経路と南蛮貿易港日出の姿（平井義人）／16 高野山への信仰と参詣の旅路（山下真理子）／17 『神社日誌』から読み解く祭りの変遷—英彦山神社神幸祭の事例から—（須永 敬）／第6部 これからのアーカイブズの話しよう／18 武家の北海道移住とアーカイブズの移動—亙理伊達家中村木孝英の近世・近代—（三野行徳）／19 在来木綿からタオルへ—加古川地方の産業史—（西向宏介）／20 高知の山奥までやってきた戦争—高知県津野町口目ヶ市集落の『常会記録』を読む—（小幡 尚）

ウィキペディアタウン・ハンドブック

図書館・自治体・まちおこし関係者必携

青木和人

ISBN978-4-86766-069-0 C0036
A5判・並製・136頁・フルカラー
定価：本体1,800円（税別）

2025
刊行

立ち読みする!



ウン開催のためのハンドブックです。

図書館・自治体・まちおこし関係者必携!

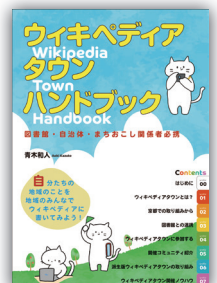
【目次】

すごろく ウィキペディアタウンを開催してみよう!
レッスン00 はじめに
レッスン01 ウィキペディアタウンとは?
Column 私たちの活動が始まったきっかけ オープンデータ京都実践会前史
レッスン02 京都での取り組みから
Column 活動を継続させるために
オープンデータ京都実践会の紹介
レッスン03 図書館との連携
レッスン04 ウィキペディアタウンに参加する
レッスン05 開催コミュニティ紹介
レッスン06 派生版ウィキペディアタウンの取り組み
レッスン07 ウィキペディアタウン開催ノウハウ

ウィキペディアタウンとは、自分たちの地域のことを、地域のみみんなでウィキペディアに書いてみよう!地域の歴史や文化の情報を発信していこう!という取り組みです。今ではまちあるきや、まちおこし、高校生の授業や生涯学習、図書館でのイベント等、さまざまな場面で行われています。そんなウィキペディアタウンはどう行えばいいのか。はじめての方にもわかりやすく紹介します。

地域に関する項目をどうウィキペディアに作成するか。フィールドワークはどう行えばいいのか。ワークショップはどう運営したらいいのか。長年にわたりウィキペディアタウンを開催してきた著者が、さまざまな疑問に答えていきます。

本書はウィキペディアタウンの取り組みやその意義を紹介し、図書館や自治体、地域団体やウィキペディアンとの連携方法について説明。開催ノウハウもくわしく紹介し、全国の図書館員やウィキペディアタウン開催希望者が、ウィキペディアタウンをスムーズに実施できるようになることを目的とした、ウィキペディアタ



その他の刊行図書 2025.04 現在

それぞれの本の詳細は文学通信サイト [<https://bungaku-report.com/>]、もしくは検索してご覧下さい

	刊行年	ISBN	本体価格
東アジア文化講座・全4冊 [完結]			
はじめに交流ありき—東アジアの文学と異文化交流●染谷智幸編	2021年2月	978-4-909658-44-9	2800円
漢字を使った文化はどう広がっていたのか—東アジアの漢字漢文文化圏●金文京編	2021年2月	978-4-909658-45-6	2800円
東アジアに共有される文学世界—東アジアの文学圏●小峯和明編	2021年2月	978-4-909658-46-3	2800円
東アジアの自然観—東アジアの環境と風俗●ハルオ・シラネ編	2021年2月	978-4-909658-47-0	2800円
デジタル・ヒューマニティーズ関連書			
歴史情報学の教科書—歴史のデータが世界をひらく●後藤 真・橋本雄太編	2019年4月	978-4-909658-12-8	1900円
ネット文化資源の読み方・作り方—図書館・自治体・研究者必携ガイド●岡田一祐	2019年7月	978-4-909658-14-2	2400円
デジタル学術空間の作り方—仏教学から提起する次世代人文学のモデル●下田正弘・永崎研宣編	2019年12月	978-4-909658-19-7	2800円
欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識●人文情報学研究所監修	2021年7月	978-4-909658-58-6	2800円
人文学のためのテキストデータ構築入門 <small>TEIガイドラインに準拠した取り組みにむけて</small> ●人文情報学研究所監修	2022年8月	978-4-909658-84-5	3000円
デジタルストーリーを实践する <small>データとしてのテキストを扱うためのビギナーズガイド</small> ●ジョナサン・ブレインーほか	2023年10月	978-4-86766-022-5	2700円
IIIF[トリプルアイエフ]で拓くデジタルアーカイブ コンテンツの可能性を世界につなぐ●一般財団法人人文情報学研究所(監修)	2024年7月	978-4-86766-057-7	3000円
国語教育関連書			
なぜ古典を勉強するのか—近代を古典で読み解くために●前田雅之	2018年6月	978-4-909658-00-5	3200円
国語の授業の作り方—はじめての授業マニュアル●古田尚行	2018年7月	978-4-909658-01-2	2700円
古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。●勝又基編	2019年9月	978-4-909658-16-6	1800円
古典教育と古典文学研究を架橋する—国語科教員の古文教材化の手順●井浪真吾	2020年3月	978-4-909658-26-5	2700円
高校に古典は本当に必要なのか—高校生が高校生のために考えたシンポジウムのまとめ●長谷川凜ほか	2021年5月	978-4-909658-36-4	1800円
古典教育をオーバーホールする—国語教育史研究と教材研究の視点から●菊野雅之	2022年9月	978-4-909658-87-6	2700円
文学授業のカンドコロ <small>迷える国語教師たちの物語</small> ●助川幸逸郎・幸坂健太郎・岡田真範・難波 博孝・山中勇夫	2022年7月	978-4-909658-80-7	1900円
# 卒論修論一口指南 ●田中草大	2022年6月	978-4-909658-78-4	1600円
未来を切り拓く古典教材 <small>和本・くずし字でこんな授業ができる</small> ●山田和人・加藤直志・加藤弓枝・三宅宏幸編	2023年3月	978-4-86766-003-4	1900円
故事成語教材考●樋口敦士	2023年7月	978-4-86766-015-7	2800円
古典を学んでよかった!と思える探究型授業のつくりかた <small>【本邦】国語・国語教育研究</small> ●日本文学アクティブラーニング研究会編	2025年3月	978-4-86766-083-6	2400円
文学・歴史・美術・思想・文化			
三島由紀夫は—〇代をどう生きたか—あの結末をもたらしたものに●西法太郎	2018年11月	978-4-909658-02-9	3200円
全訳 男色大鑑〈武士編〉●染谷智幸・畑中千晶編	2018年12月	978-4-909658-03-6	1800円
全訳 男色大鑑〈歌舞伎若衆編〉●染谷智幸・畑中千晶編	2019年10月	978-4-909658-04-3	1800円
紙が語る幕末出版史—『開版指針』から解き明かす●白戸 満喜子	2018年12月	978-4-909658-05-0	9500円
二代目市川團十郎の日記にみる享保期江戸歌舞伎●ビュールク トーヴェ	2019年2月	978-4-909658-09-8	6000円
江戸の子どもの絵本—三〇〇年前の読書世界にタイムトラベル!●叢の会編	2019年4月	978-4-909658-10-4	1000円
〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典●長島弘明編	2019年5月	978-4-909658-13-5	3200円
真山青果とは何者か?●飯倉洋一・日置貴之ほか編	2019年7月	978-4-909658-15-9	2800円
注釈・考証・読解の方法—国語国文学的思考●白石良夫	2019年11月	978-4-909658-17-3	3200円
草の根歴史学の未来をどう作るか—これからの地域史研究のために●黒田智・吉岡由哲編	2020年1月	978-4-909658-18-0	2700円

新刊

その他の刊行図書 2025.04 現在

それぞれの本の詳細は文学通信サイト [<https://bungaku-report.com/>]、もしくは検索してご覧下さい

薩琉軍記論—架空の琉球侵略物語はなぜ必要とされたのか●目黒将史	2019年12月	978-4-909658-20-3	15000円
怪異をつくる—日本近世怪異文化史●木場貴俊	2020年3月	978-4-909658-22-7	2800円
江戸初期の香文化—香がつなぐ文化ネットワーク●堀口悟・鈴木健夫・村田真知子編	2020年2月	978-4-909658-23-4	4500円
近世前期江戸出版文化史●速水香織	2020年2月	978-4-909658-24-1	品切れ
江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽●前島美保	2020年2月	978-4-909658-25-8	12000円
「国文学」の批判的考察—江戸のテキストから古典を考え直す●空井伸一	2020年3月	978-4-909658-27-2	11500円
好古趣味の歴史—江戸東京からたどる●小林ふみ子・中丸宣明編著	2020年6月	978-4-909658-29-6	2800円
城壁●榛葉英治・和田敦彦	2020年6月	978-4-909658-30-2	2400円
信長徹底解説—ここまでわかった本当の姿●堀 新・井上泰至編	2020年7月	978-4-909658-31-9	2700円
杞憂に終わる連句入門●鈴木千恵子	2020年6月	978-4-909658-32-6	1500円
読書の歴史を問う—書物と読者の近代 改訂増補版●和田敦彦	2020年8月	978-4-909658-34-0	1900円
説話文学研究の最前線—説話文学会 55 周年記念・北京特別大会の記録●説話文学会編	2020年9月	978-4-909658-35-7	3000円
二十四節気で読みとく漢詩●古川末喜	2020年10月	978-4-909658-37-1	2800円
古典の未来学—Projecting Classicism ●荒木浩編	2020年10月	978-4-909658-39-5	8000円
書誌学入門ノベル！ 書医あづさの手控〈クロニクル〉●白戸満喜子	2020年12月	978-4-909658-41-8	1800円
王朝物語の表現機構—解釈の自動化への抵抗●星山 健	2021年1月	978-4-909658-42-5	6000円
近代平仮名体系の成立—明治期読本と平仮名字体意識●岡田一祐	2021年2月	978-4-909658-48-7	7000円
虚学のすすめ—基礎学の言い分●白石良夫	2021年2月	978-4-909658-49-4	1900円
自由律俳句と詩人の俳句●樽見 博	2021年3月	978-4-909658-50-0	2700円
『阿毘達磨集論』の伝承—インドからチベットへ、そして過去から未来へ●高橋晃一・根本裕史編	2021年3月	978-4-909658-51-7	2400円
これからの古典の伝え方—西鶴『男色大鑑』から考える●畑中千晶	2021年3月	978-4-909658-53-1	1900円
軍記物語と合戦の心性●佐伯真一	2021年4月	978-4-909658-54-8	10000円
言いなりにならない江戸の百姓たち—「幸谷村酒井家文書」から読み解く●渡辺尚志	2021年6月	978-4-909658-56-2	品切れ
『奥の細道』の再構築●井口洋	2021年11月	978-4-909658-62-3	11000円
たたかう講師—二代目松林伯円の幕末・明治●目時美穂	2021年11月	978-4-909658-66-1	2500円
読まなければなにもはじまらない—いまから古典を〈読む〉ために●木越治・丸井貴史編	2021年11月	978-4-909658-67-8	1900円
Butoh 入門 肉体を翻訳する ●大野ロベルト・相原朋枝編	2021年12月	978-4-909658-68-5	2200円
無数のひとりが紡ぐ歴史—日記文化から近現代日本を照射する ●田中祐介編	2022年3月	978-4-909658-75-3	2800円
未墾地に入植した満蒙開拓団長の記録—堀忠雄『五福堂開拓団十年記』を読む ●黒澤 勉・小松靖彦編	2022年3月	978-4-909658-71-5	2400円
地域歴史文化継承ガイドブック—付・全国資料ネット総覧 ●天野真志・後藤 真編	2022年3月	978-4-909658-72-2	1600円
日本学の教科書 Handbook for Japanese Studies ●伴野文亮・茂木謙之介編	2022年4月	978-4-909658-73-9	1800円
職業としての大学人 ●紅野謙介	2022年4月	978-4-909658-77-7	1800円
「文壇」は作られた—川端康成と伊藤整からたどる日本近現代文学史 ●尾形大	2022年4月	978-4-909658-74-6	2000円
思い出のとしまえん ●練馬区立石神井公園ふるさと文化館編 小宮佐知子・内田 弘・小林 克著	2022年5月	978-4-909658-76-0	1900円
職業作家の生活と出版環境—日記資料から研究方法を拓く●和田敦彦編	2022年6月	978-4-909658-82-1	2700円
# 卒論修論—口指南 ●田中草大	2022年6月	978-4-909658-78-4	1600円
俳句がよくわかる文法講座 詠む・読むためのヒント●井上泰至・堀切克洋編	2022年8月	978-4-909658-79-1	1900円

その他の刊行図書 2025.04 現在

それぞれの本の詳細は文学通信サイト [<https://bungaku-report.com/>]、もしくは検索してご覧下さい

人はなぜ神話〈ミュトス〉を語るのか—拡大する世界と〈地〉の物語 ●清川 祥恵・南郷晃子・植朗子編	2022年9月	978-4-909658-85-2	2800円
江戸幕府の誕生—関ヶ原合戦後の国家戦略 ●渡邊大門編	2022年9月	978-4-909658-86-9	1900円
増補新版 東北の古本屋 ●折付桂子	2022年10月	978-4-909658-88-3	1800円
川瀬巴水探索—無名なる風景の痕跡をさがす ●川瀬巴水とその時代を知る会	2022年11月	978-4-909658-90-6	1900円
〈転生〉する川端康成 I 引用・オマージュの諸相 ●仁平政人・原善編	2022年12月	978-4-909658-89-0	2700円
学芸員の観察日記 ミュージアムのうらがわ ●滝登くらげ	2023年2月	978-4-909658-93-7	1600円
家康徹底解説 ここまでわかった本当の姿 ●堀 新・井上泰至編	2023年2月	978-4-909658-95-1	2700円
おもろさうし選詳解 ●島村幸一	2023年2月	978-4-909658-97-5	10000円
児童雑誌の誕生 ●柿本真代	2023年2月	978-4-86766-001-0	2800円
燈謎（とうめい）漢字文化圏文字遊戯の諸相 ●呉 修喆	2023年2月	978-4-909658-94-4	6000円
西鶴『誹諧独吟一日千句』研究と註解 ●中嶋 隆	2023年2月	978-4-909658-98-2	6000円
源氏物語夢見論 ●笹生美貴子	2023年3月	978-4-909658-99-9	7000円
古文書の科学 料紙を複眼的に分析する ●渋谷綾子・天野真志編	2023年3月	978-4-86766-004-1	1900円
未来を切り拓く古典教材 <small>和本・くずし字でこんな授業ができる ●同志社大学古典教材開発研究センター・山田和人・加藤直志・加藤弓枝・三宅宏幸編</small>	2023年3月	978-4-86766-003-4	1900円
土偶を読むを読む ●望月昭秀編	2023年4月	978-4-86766-006-5	2000円
東アジアの都市とジェンダー—過去から問い直す ●小林ふみ子・染谷智幸編	2023年4月	978-4-86766-005-8	2800円
江戸の絵本読解マニュアル 子どもから大人まで楽しんだ草双紙の読み方 ●叢の会編	2023年4月	978-4-86766-007-2	2100円
和学知辺草【翻刻・注釈・現代語訳】 ●中尾友香梨・白石良夫・中尾健一郎・村上義明編 <small>小城鍋島文庫研究会校注</small>	2023年4月	978-4-86766-002-7	6000円
石牟礼道子と〈古典〉の水脈 他者の声が響く ●野田研一・後藤隆基・山田悠介編	2023年5月	978-4-86766-008-9	2800円
伝統芸能の教科書 ●藤澤茜編著	2023年5月	978-4-86766-010-2	1900円
東アジアにおける笑話 ●佐伯孝弘・荒尾禎秀・島田大助・川上陽介・王 國良・崔 溶澈	2023年5月	978-4-86766-009-6	3200円
西鶴奇談研究 ●梁誠允	2023年5月	978-4-86766-012-6	5800円
詩のかたち・詩のころ—中世日本漢文学研究—【補訂版】 ●堀川貴司	2023年5月	978-4-86766-011-9	10000円
日本史のなかの中世日光山 忘れられた全盛時代 ●永井 晋	2023年8月	978-4-86766-017-1	2000円
文士村散策 新宿・大久保いまむかし ●茅原 健	2023年8月	978-4-86766-016-4	2200円
村上春樹研究 サンプリング、翻訳、アダプテーション、批評、研究の世界文学 ●横道 誠	2023年9月	978-4-86766-018-8	3000円
なんで日本研究するの？ ●シュミット堀佐知編	2023年10月	978-4-86766-019-5	2400円
百年前の野球交流 インディアナ大学 vs 早稲田大学 ●錦 仁	2023年11月	978-4-86766-024-9	2800円
彰義隊、敗れて末のたいこもち 明治の名物詰問、松廼家露八の生涯 ●目時美穂	2023年11月	978-4-86766-020-1	2500円
和本図譜 江戸を究める ●日本近世文学会編	2023年11月	978-4-86766-025-6	1900円
なぜ古い本を網羅的に調べる必要があるのか <small>漢籍デジタル化公開と中国古典小説研究の展開 ●U-PARL・荒木 達雄編</small>	2023年12月	978-4-909658-64-7	2000円
西鶴解析 ●井口 洋	2023年12月	978-4-86766-013-3	6000円
文化権力と日本の近代 伝統と正統性、その創造と統制・隠滅 ●徐禎完・鈴木彰	2023年12月	978-4-86766-027-0	2800円
予言獣大図鑑 ●長野栄俊編・岩間理紀・笹方政紀・峰守ひろかず著	2023年12月	978-4-86766-026-3	2200円
金原明善 日本の〈偉人〉を捉えなおす ●伴野文亮・渡辺尚志編	2023年12月	978-4-86766-028-7	2000円
特撮に見えたる妖怪 ●式水下流	2024年2月	978-4-86766-033-1	2000円
琉球文学の展望 ●島村幸一	2024年2月	978-4-86766-034-8	8000円

その他の刊行図書 2025.04 現在

それぞれの本の詳細は文学通信サイト [<https://bungaku-report.com/>]、もしくは検索してご覧下さい

文明論と伝記の近代 明治前半期の歴史と文学●吉岡 亮	2024年2月	978-4-86766-031-7	6000円
幕末の社会変革と文芸 菊池・大橋家の文人たちの歩みを追って●佐藤 温	2024年2月	978-4-86766-036-2	6500円
東アジア的世界分析の方法 〈術数文化〉の可能性●水口幹記編	2024年2月	978-4-86766-029-4	3500円
研究者、魚醤と出会う。 山形の離島・飛鳥塩辛を追って●白石哲也・松本 剛・奥野貴士編	2024年3月	978-4-86766-037-9	1900円
地域歴史文化のまもりかた 災害時の救済方法とその考え方●天野真志・松下正和編	2024年3月	978-4-86766-043-0	1800円
武者小路実篤文学の構造と同時代状況●瀧田 浩	2024年3月	978-4-86766-032-4	4000円
〈転生〉する川端康成Ⅱ アダプテーションの諸相●仁平政人・原善編	2024年3月	978-4-86766-040-9	3500円
デジタル時代の児童の読解力 紙とデジタル比較読解調査からみえること●難波博孝編	2024年3月	978-4-86766-039-3	1500円
唐物の神能における唐土 『東方朔』『西王母』『菊慈童』『鶴亀』をめぐって●リム・ベンチャー著 青山学院大学文学部日本文学科編	2024年3月	978-4-86766-038-6	700円
江戸の王朝文化復興 ホノルル美術館所蔵レイン文庫『十番虫合絵巻』を読む●盛田帝子/ロバート・ヒューイ編	2024年3月	978-4-86766-041-6	2800円
古典の再生●盛田帝子編	2024年3月	978-4-86766-042-3	2800円
ミュージアムと生きていく●大澤夏美	2024年5月	978-4-86766-048-5	1800円
中間小説とは何だったのか 戦後の小説雑誌と読者から問う●小嶋洋輔・高橋孝次・西田一豊・牧野悠	2024年5月	978-4-86766-051-5	3200円
五山文学探究 資料と論考●堀川貴司	2024年5月	978-4-86766-053-9	10000円
源氏物語の戦略 引用と反復●高橋早苗	2024年5月	978-4-86766-046-1	5500円
麻雀漫画 50 年史●V 林田	2024年6月	978-4-86766-049-2	2400円
戦乱で躍動する日本中世の古典学●前田雅之	2024年7月	978-4-86766-047-8	12500円
役者絵の図像学 錦絵八犬伝を読む●岩田秀行・小池章太郎	2024年7月	978-4-86766-050-8	5000円
説話文学研究の海図 説話文学会六〇周年記念論集●説話文学会編	2024年7月	978-4-86766-056-0	3200円
江戸の怪談 近世怪異文芸論考●近藤瑞木	2024年9月	978-4-86766-052-2	2800円
開講！木彫り熊概論 歴史と文化を旅する●北海道大学大学院文学院 文化多様性論講座 博物館学研究室・田村実咲編	2024年9月	978-4-86766-054-6	2200円
なぜ少年は聖剣を手にし、死神は歌い踊るのか ポップカルチャーと神話を読み解く 17 の方法●神戸神話・神話学研究会他編	2024年10月	978-4-86766-066-9	1900円
終わっていない、逃れられない 〈当事者たち〉の震災俳句と短歌を読む●加島正浩	2024年10月	978-4-86766-060-7	1900円
戦前期週刊誌の文学と視覚表象 『サンデー毎日』の表現戦略●荒井真理亜・副田賢二・富永真樹・中村健編	2024年11月	978-4-86766-068-3	4500円
19 世紀日本における服従と反抗 山形県庄内地方の四つの集団抗議●ウィリアム・W・ケリー	2024年11月	978-4-86766-067-6	1700円
「お静かに！」の文化史 ミュージアムの声と沈黙をめぐって●今村信隆	2024年12月	978-4-86766-070-6	1900円

日本史史料研究会ボックス

新徴組の真実にせまる—最後の組士が証言する清河八郎・浪士組・新選組・新徴組●西脇 康	2018年12月	978-4-909658-06-7	1300円
新 神風と悪党の世紀—神国日本の舞台裏●海津 一郎	2019年1月	978-4-909658-07-4	1200円
六波羅探題 研究の軌跡—研究史ハンドブック●久保田和彦	2020年1月	978-4-909658-21-0	1200円
ここまでわかった戦国時代の天皇と公家衆たち—天皇制度は存亡の危機だったのか？新装版●神田裕理編	2020年7月	978-4-909658-33-3	1350円
戦国時代と一向一揆●竹間芳明	2021年6月	978-4-909658-55-5	1600円
幕末大江戸のおまわりさん—史料が語る新徴組●西脇 康	2021年10月	978-4-909658-65-4	1500円
論考 日本中世史—武士たちの行動・武士たちの思想●細川重男	2022年3月	978-4-909658-70-8	1800円

REKIHAKU・国立歴史民俗博物館発行

REKIHAKU 特集・されど歴史●山田慎也・内田順子・橋本雄太編	2020年10月	978-4-909658-38-8	1091円
REKIHAKU 特集・いまこそ、東アジア交流史●高田貫太・橋本雄太編	2021年2月	978-4-909658-43-2	1091円

REKIHAKU 特集・日記がひらく歴史のトビラ●三上喜孝・内田順子編	2021年6月	978-4-909658-57-9	1091円
REKIHAKU 特集・歴史のなかの疫病●福岡万里子・高田貫太編	2021年10月	978-4-909658-63-0	1091円
REKIHAKU 特集・ファッション×博物館●澤田和人編・吉村郊子編	2022年2月	978-4-909658-69-2	1091円
REKIHAKU 特集・人工知能の現代史●橋本雄太・澤田和人編	2022年6月	978-4-909658-81-4	1091円
REKIHAKU 特集・歴史の「匂い」●小倉慈司・高田貫太編	2022年10月	978-4-909658-91-3	1091円
REKIHAKU 特集・アートがひらく地域文化●川村清志・天野真志編	2023年2月	978-4-909658-96-8	1091円
REKIHAKU 特集・推定不能 炭素 14 研究がとらえた未知の巨大太陽フレアの謎●箱崎真隆・橋本雄太編	2023年6月	978-4-86766-014-0	1091円
REKIHAKU 特集・歴史をつなぐ	2023年10月	978-4-86766-023-2	1091円
REKIHAKU 特集・顔・身体をもつ道具たち	2024年2月	978-4-86766-030-0	1091円
REKIHAKU 特集・蔵書をヒラク	2024年6月	978-4-86766-055-3	1091円
REKIHAKU 特集・カメラ越しの世界	2024年10月	978-4-86766-059-1	1091円
REKIHAKU 特集・3D からみえる研究	2025年2月	978-4-86766-074-7	1091円
地方史はおもしろい・地方史研究協議会編			
日本の歴史を解きほぐす―地域資料からの探求●地方史研究協議会編	2020年4月	978-4-909658-28-9	1500円
日本の歴史を原点から探る―地域資料との出会い●地方史研究協議会編	2020年10月	978-4-909658-40-1	1500円
日本の歴史を問いかける―山形県〈庄内〉からの挑戦●地方史研究協議会編	2021年3月	978-4-909658-52-4	1500円
日本の歴史を描き直す―信越地域の歴史像●地方史研究協議会編	2021年9月	978-4-909658-61-6	1500円
日本の歴史を突き詰める おおさかの歴史●地方史研究協議会編	2022年12月	978-4-909658-92-0	1500円
徳島から探求する日本の歴史●地方史研究協議会編	2023年11月	978-4-86766-021-8	1500円
だから地方史研究はやめられない●地方史研究協議会編	2025年4月	978-4-86766-082-9	1650円
玉藻前アンソロジー [全3巻]			
玉藻前アンソロジー 殺之巻●朝里 樹編著	2021年7月	978-4-909658-59-3	1900円
玉藻前アンソロジー 生之巻●朝里 樹編著	2022年10月	978-4-909658-83-8	1900円
玉藻前アンソロジー 石之巻●朝里 樹編著			近刊
歌舞伎 研究と批評 [68号から取り扱い開始しました]			
歌舞伎 研究と批評 68 特集・歌舞伎と近現代演劇●歌舞伎学会編	2024年2月	978-4-86766-035-5	2330円
歌舞伎 研究と批評 69 特集・古浄瑠璃とその周辺●歌舞伎学会編	2024年10月	978-4-86766-058-4	2330円
その他			
中華オタク用語辞典●はちこ	2019年3月	978-4-909658-08-1	1800円
【呉公藻・馬岳梁版】太極拳講義●沈 剛・日高崇編著	2021年8月	978-4-909658-60-9	1300円
波多野華涯書簡集―門人濱口梧洞との往復書簡●岩田秀行・小田切マリ [私家版]	2019年3月	978-4-909658-11-1	品切れ

新刊

新刊

新刊

新刊

文学通信

〒113-0022

東京都文京区千駄木 2-31-3 サンウッド文京千駄木フラッツ 1階 101

電話 03-5939-9027 FAX03-5939-9094 メール info@bungaku-report.com

全国の書店でご注文できます。お急ぎの場合は上記までご連絡ください。すぐに対応いたします。